

## 2019年度 神戸市記録会 要項

1. 主催 神戸市陸上競技協会  
 2. 主管 神戸市陸上競技協会  
 3. 期日 【第1回】2019年3月30日(土) 【第2回】2019年6月8日(土)  
 4. 場所 ユニバー記念競技場・補助競技場(神戸市須磨区緑台 電話 078-793-6150)  
 (神戸市営地下鉄山手線「総合運動公園」駅下車 徒歩5分)

種目	第1回	第2回
小学男子	100m、1500m、走高跳、走幅跳、	100m、1500m、80mH、ジャベリックボール投
小学女子	100m、800m、走高跳、走幅跳	100m、800m、80mH、ジャベリックボール投
中学男子	100m、1500m、110mH、4×100m、走高跳、走幅跳、砲丸投	100m、1年1500m、3000m、110mH、走高跳、走幅跳、砲丸投
中学女子	100m、800m、100mH、4×100m、走高跳、走幅跳、砲丸投	100m、1年800m、1500m、100mH、走高跳、走幅跳、砲丸投
一般高校男子	200m、800m、5000m、400mH、走高跳、走幅跳、砲丸投(7.2K)、砲丸(6.0K-高校のみ)、やり投	100m、800m、110mH、400mH、走高跳、やり投
一般高校女子	200m、800m、3000m、400mH、走高跳、走幅跳、砲丸投、やり投	100m、800m、100mH、400mH、走高跳、やり投

6. 出場資格
- ※第2回の中学男子1年1500m、女子1年800mは補助競技場で実施し、手動計時の予定。
  - 2019年度兵庫陸上競技協会の登録者で神戸市内に在住、在勤、在学する競技者。
  - 中学・高校生においては、各学校で1名以上の協力審判が可能であること。
  - 学年は申込時の学年を記入すること。
  - 小学生の参加は5・6年生とする。(但し、第1回のみ4年生も可)(登録は不要)
- 1回記録会の学年に注意してください。

7. 出場制限
- 1人2種目以内(リレーは兼ねてもよい)。
  - 第1回の中学男女4×100mは、各校1チームとする。

8. 申込方法
- (1) 様式(申込一覧表)
- 申込一覧表(神戸市陸協 Web よりダウンロード)ファイルに必要事項を入力し、各学校・団体ごとに取りまとめてメールで申し込むとともに、入力後の申込一覧表を印刷し下記まで郵送する。詳細は神戸市陸協 Web に記載。
  - 番組編成の関係上、公認記録(または参考記録)を必ず入力する。
  - 申込者の過失による名前・所属名等の修正は受け付けない。また、申込後の変更は一切受け付けない。
  - 申込期日に遅れたもの、参加料の振込のないもの、記載事項に不備のあるものは一切受け付けない。
- (2) 申込料

	高校生・一般	中学生	小学生
個人種目 1人1種目につき	500円	400円	100円
リレー 1チームにつき		600円	

※申込料は、理由の如何にかかわらず返金しない。

- (3) 送金
- 右の口座への郵便振込みに限る。  
(申込期日内の振込厳守)
- 口座番号 神戸 01140-8-62444  
 加入者名 神戸陸協 競技部 西角智成

- (4) 郵送先
- 〒654-0142 神戸市須磨区友が丘9-23 県立北須磨高等学校 内  
 神戸市陸上競技協会 競技部 西角 智成

- (5) すべての締切 【第1回】2019年3月15日(金) 必着 【第2回】2019年5月23日(木) 必着

9. ナンバーカード 「2019年度登録番号」を使用する。(24cm×20cm 各自で準備)小学生は当日普及研修部より貸し出します。

10. 個人情報の取り扱いについて
- 申込に伴う個人情報は主催者で厳重に保管し、本大会目的以外に使用することはありません。用紙やデータの提出により、下記の取り扱いに承諾を得たものと見なします。
- 神戸市陸協 Web による名前・所属・記録等の記載
  - 神戸市陸協が認めた報道機関の撮影・収集による情報の新聞、雑誌、Web 等での公開

11. その他
- 競技規則は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項による。
  - スタートについて、小学生種目は「イングリッシュコマンド」、2回目に不正スタートした者が失格とします。
  - スパイクのピンは9mm(「走高跳」「やり投」は12mm)以下とする。
  - 高校生は腰ナンバーを各校で準備して下さい。
  - 小学生の希望者に参加記録証を発行します(一部100円)。大会当日に総務まで申し出て下さい。
  - 競技日程・番組編成・結果は神戸市陸協 Web <http://www.haaa.jp/~kobe/> で公開します。
  - プログラムの作成・販売はしません。
  - 競技中の疾病・傷害の応急処置は主催者側で行うが、以後の責任は一切負いません。